

もう冬の準備 その1

冬の準備への第一歩は、衣服の整理です。冬物の服を出し、虫などにいたずらされていないかを確認します。クリーニングが必要なら出します。コートブラッシングも念入りに行いましょう。

次は、車の点検とスタッドレスタイヤへの交換です。今、三カ月に1万キロをオーバーするほど車を使っていますので、オイルとオイルシートの交換やブレーキなどの点検が必要です。

次は、家の周りの掃除です。畑も含めて、様々な木々を剪定し、切った枝を縛って丸めてごみに出し、畑の草をひきます。開いている部分の畑をうないます。柿の実をもぎり、皮をむき、軒下に吊り下げます。大根を間引いて塩漬けにして細かく刻んで食べます。

白菜には、尿素と肥やしを振ります。キャベツには肥やしを、ほうれん草には消石灰を追加します。

ストーブがある場合は、燃料の薪を積まなくてはならないでしょうが、暖房は主に石油ストーブなので、灯油の残りを点検します。雪が降る地方は、雪つりなどの木々への手当も必要でしょう。いわきは、その点、雪への準備はいりませんから、台風で壊れたところの点検等を行っておけば、一冬の備えとすれば十分でしょう。

畑においては、ネギの土寄せと、たい肥として積んでおいた刈り取った草や枯葉などを土の中に入れるのはもう少し先でよいので、その心づもりだけしておきます。

花がない季節には、この時期の菊の花がとても良いので、春先から植えておいたものがあつたのですが、水害が菊の葉をチャリチャリにして花が咲くのが一部だったので、とりあえず短く枝を切りそろえて、春先からの芽出しの準備と肥料を多く周りにかけておきます。

冬の先には必ず春が来ます。春が来た時に、花々がどのように芽を持つか、桜は枝を切らず、梅は短く切っておいて、藤の花も目の伸ばし具合を点検し、チューリップの球根をきちんと花壇に植えておきます。チューリップの球根は色がわからなくなった球根は畑の隅に植えて切り花用にし、花壇には、新たに色がわかるような植え方をするために、近くの種屋さんから買っていただいたものを植えます。後ろの後ろに種屋が開店して、とても助かっています。

あとは、各大学の青本をもう一度読み込みましょうか。青本のほうが問題の解説が丁寧で、生徒にはお勧めです。